

兵庫県芸術文化協会

(公財) 兵庫県芸術文化協会文化振興部
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町
1丁目5番7号 神戸情報文化ビル2F
Tel.078-321-2002
編集・発行人／谷口賢行
(公財) 兵庫県芸術文化協会理事長

HP Site

公式SNS やっています!

Facebook

X (旧 Twitter)

YouTube

Instagram

456号

2025年
6月号



題字：井茂圭洞（書家・文化勲章受章者）



能「安宅」事前学習と公演鑑賞

伝統芸能講座「能楽の世界」短期講座 全2回

受講生を募集!

「安宅」は義経と弁慶の関所越えを題材とした歌舞伎の演目「勧進帳」の元になった作品です。能楽協会神戸支部長で観世流シテ方の上田拓司さんによる事前解説と、県立芸術文化センターでの公演鑑賞がセットになった全2回の講座です。

【第1回 事前学習】

■日時 9月5日(金)14時～15時30分

■場所 夙川能舞台瓦照苑 (西宮市相生町10-11)

■講師 上田拓司 (夙川能舞台瓦照苑代表、能楽協会神戸支部支部長、能楽シテ方 観世流)

※「安宅」のあらすじや見どころを聞き、実際に能舞台の上を歩いたり、能装束を間近で鑑賞したりします。当日、白足袋を持参いただくと、舞台に上がっていただけます。

【第2回 公演鑑賞】

■日時 9月21日(日)14時～

■場所 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

■内容 〈第1部〉トーク 能「安宅」の見どころ 桂 吉坊 (落語家)、石井登志郎 (西宮市長)、河内厚郎 (県立芸術文化センター特別参与)

〈第2部〉能「安宅」上田拓司、福王知登、善竹隆司 ほか

■受講料 (鑑賞チケット付き) 一般5,800円、友の会会員4,800円 *公演鑑賞のお席は選べません。鑑賞チケットは第1回の講座時にお渡しします。

■定員 40人 ■申し込み・問い合わせ 当協会文化振興部 ☎078-321-2002



詳細はこちら

令和7年度 伝統文化体験教室『日舞のススメ』

申し込みフォーム

お子様から大人まで楽しめる日本舞踊。日本舞踊の基本的な型を曲に合わせて講師の振りを見ながら舞います。美しい所作、姿勢が自然と身につきます。浴衣を着て日本独自の踊りを踊りませんか。いつもと違う自分を発見しましょう。

■日時 7月26日(土)13時30分～15時30分

■場所 神戸市立長田区文化センター 和室

■講師 兵庫県舞踊文化協会役員

■定員 15名 (先着順) ※小学生は保護者同伴

■服装 浴衣 (細帯・腰ひも)、足袋又は靴下

※会場でお着替えになる場合は13時集合

■参加費 無料

■申し込み・問い合わせ 当協会文化振興部 ☎078-321-2002

ひょうご

プレミアム芸術デーで 施設を無料開放

横尾忠則現代美術館 【問い合わせ】 ☎078-855-5607

ひょうごプレミアム芸術デー特別イベント

音遊びの会と大友良英 in Y+T MOCA

神戸を舞台に活動する「音遊びの会」は、知的な障害のある人を含むアーティストの大集団。大友良英さんは、その自由な即興演奏に惚れ込み、活動初期からメンバーのひとりとして共演を重ねています。結成20周年を迎えてますます自由でユニークな表現を繰り出す「音遊びの会」のいまを、ぜひ体感してください。

■日時 7月12日(土)19時～20時

■出演 音遊びの会、大友良英

■入場料 無料(要申込)

■定員 100席

■申込期間 6月1日(日)～6月13日(金) ※応募者多数の場合、抽選

ピッコロシアター 【問い合わせ】 ☎06-6426-1940

ピッコロ ベイビー・プログラム

ヒョーゲンアソビノバ

■時間 ①10時30分～12時30分
②13時30分～15時30分
(2部制) ※時間内入退場自由

■場所 ピッコロシアター 中ホール

■定員 各回先着20名(要予約)

■対象 0歳～年長のお子さんと保護者 ※時間内入退場自由

ピッコロシアター文化セミナー〈104〉

落語家 桂米團治さんにきく

「上方落語を次世代へ! ～和の心の尊さ～」

<手話通訳 & 要約筆記付き>

聞き手＝露の紫

■時間 14時～15時30分

■場所 ピッコロシアター 大ホール

■定員 先着400名(自由席・要予約)

桂米團治

兵庫県は芸術や文化を気軽に楽しんでもらおうと、兵庫県発足の日(7月12日)に合わせて施設の無料開放や無料イベントを催す「ひょうごプレミアム芸術デー」を実施しています。今回は7月9日から15日までを中心に、県内の民間を含めた美術館や博物館など延べ114施設で展開。今月号では当協会が管理運営する2施設のイベントを紹介し、芸術文化センターは、11月29日にオープンデー(プレミアム芸術デー)を開催します。

令和7年度

兵庫県功労者表彰 受賞者が決定

令和7年度兵庫県功労者表彰の受賞者が発表されました。県の芸術文化の振興などに多大な貢献をされ、表彰を受けられた方々を次の通り紹介します。（部門別・50音別）

【県勢高揚部門】

黒田 賢一さん 書家、文化功労者

【学術教育功労部門】

藪田 貫さん 前兵庫県立歴史博物館長

【文化功労部門】

吾妻 秀扇さん 兵庫県舞踊文化協会理事
荒田 祐子さん 大阪音楽大学教授
岩永 栖邨さん 元兵庫県書作家協会理事長
椿野 伸仁さん 兵庫県児童合唱連盟理事長
安恵 隆司さん 兵庫県日本画家連盟理事長
安田 眞矢さん 兵庫県洋舞家協会理事

【地域活動功労部門】

岩坂 純一郎さん 東播磨文化団体連合会副会長
上居 宏次さん 淡路人形協会副理事長
前野 良造さん 西播磨文化協会連絡協議会副会長

令和6年度 寄附者一覧

由谷 志津子様 小池 弘三様
田中 悠子様 廣島 由美子様
正垣 昭彦様 大川 孝吉様
高濱 豊様 松井 英樹様
青木 香遊様

（順不同）

令和6年度に当協会に寄附をいただいた方々を紹介します。ご厚意、誠にありがとうございました。掲載した方のほかにも多数の方々からご寄附をいただきました。重ねてお礼申し上げます。寄附金は若手アーティストの支援に活用させていただきます。

【寄附に関する問い合わせ】
当協会総務部総務課
☎078-321-2001

催物情報

イベントガイド

記載の【友の会割引あり】は、原則として兵庫県芸術文化協会友の会会員、ご本人様のみ適用

ひょうごアーティストサロン ※入場無料
☎078-321-2005

▶兵庫県写真作家協会新進作家選抜展〈サロン内ギャラリー〉 6月2日(月)～7月29日(火)
兵庫県写真作家協会会員7人による作品7点を展示 ※日・水・木・6月14日(土)は休室

原田の森ギャラリー ※入場無料
☎078-801-1591

▶第84回創元展 兵庫巡回展・兵庫支部展〈本館2階〉 6月4日(水)～8日(日)
油彩・水彩・アクリル約130点
▶第38回書道玄燿展〈本館1階、東館1・2階〉 6月6日(金)～8日(日)
書約400点
▶芦屋写真展2025〈本館2階〉 写真約400点 6月11日(水)～15日(日)
▶第63回兵庫工芸展〈本館1階〉 工芸約90点 6月11日(水)～15日(日)
▶第7回アートラボゆめのはこ〈東館1・2階〉
絵画・児童画・立体・缶バッチイラストほか約1800点 6月12日(木)～15日(日)
▶2025 第69回新世紀神戸展〈本館2階〉
油彩・水彩・アクリル約120点 6月18日(水)～22日(日)
▶第71回兵庫県日本画家連盟会員展・公募展〈本館1階〉
日本画約70点 6月18日(水)～22日(日)
▶はないろ展〈東館1階〉 油彩約24点 6月18日(水)～22日(日)
▶全国公募2025 兵庫県水墨画協会公募展〈本館1階〉
水墨画約140点 6月25日(水)～29日(日)
▶神戸新聞文化センター神戸3会場合同教室作品展〈本館2階〉
書・絵画・生け花ほか約1000点 6月25日(水)～29日(日)
▶第25回アトリエブラド展〈東館1・2階〉 油彩・水彩約200点 6月25日(水)～29日(日)
▶いたみ杉の子ゆうゆう・フォーゆう・ホープゆう・ライフゆう作品展
〈障害者アートギャラリー〉 洋画・ちぎり絵・パステル画 ～6月27日(金)

横尾忠則現代美術館
☎078-855-5607

▶横尾忠則の肉体派宣言展 ～8月24日(日)
「描く肉体」と「描かれる肉体」の両面をテーマにした作品群を通して、横尾が体当たりで培ってきた創造の世界を体感します。
※観覧料800円ほか

▶ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート 〈1階オープンスタジオ〉※入場無料
上原かなえ フルート コンサート 6月14日(土)14時～14時30分
【お問い合わせ】(公財)兵庫県芸術文化協会☎078-321-2002

兵庫県立美術館
☎078-262-1011

▶藤田嗣治×国吉康雄:二人のパラレル・キャリアー百年目の再会 6月14日(土)～8月17日(日)
海外で成功と挫折を経験した二人の画家、藤田嗣治と国吉康雄の展覧会。太平洋戦争で大きく立場が隔たることとなった二人の作品を画期となる時代ごとに展示します。
※観覧料2,000円ほか

西宮市大谷記念美術館
☎0798-33-0164

▶野球とデザインーデザインで迎える阪神タイガースー 阪神タイガース球団創設90周年、西宮市100周年、阪神電気鉄道開業120周年 ～7月27日(日)
阪神タイガースの現在のホームグラウンド「阪神甲子園球場」を含む電鉄の沿線開発の歴史を皮切りに、インフォグラフィックスなど野球にまつわるさまざまなデザインを紹介します。
※観覧料1,200円ほか

5組10人にチケットプレゼント。締切6月18日(水)必着

市立伊丹ミュージアム
☎072-772-5959

▶旅する芭蕉 一野ざらしを心に風のしむ身かな 6月13日(金)～7月21日(月・祝)
岡田家22代当主・岡田利兵衛が蒐集した、松尾芭蕉最初の俳諧行脚である『野ざらし紀行』などの資料を展示。芭蕉が旅で追い求めたもの、その真摯な生き様を探ります。
※観覧料800円ほか

5組10人にチケットプレゼント。締切6月18日(水)必着

兵庫陶芸美術館
☎079-597-3961

▶博覧会の時代 HYOGO 発、明治の輸出陶磁 6月7日(土)～8月24日(日)
2025年の大阪・関西万博の開催に合わせ、博覧会が盛んに行われた明治期に兵庫県内で作られた輸出陶磁に注目し、その諸相を探ります。
※観覧料700円ほか

5組10人にチケットプレゼント。締切6月18日(水)必着

プレゼントのご応募について

①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキか FAX で送付。
*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会が厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。
〒650-0011 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル2階
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139

— 挑戦から展開へ —

第38回 書道 玄燿展

会期 令和7年6月6日(金)～6月8日(日)
午前10時～午後5時まで
(但し、8日は午後4時まで)
※役員・会員・公募の作品を同時に陳列します

会場 原田の森ギャラリー 本館1階、東館1・2階
(兵庫県立美術館王子分館)
神戸市灘区原田通3丁目8番30号

主催 玄燿書道会 〒671-1131 姫路市大津区天神町1-45-9
☎(079)239-9090

後援
兵庫県・兵庫県議会
兵庫県教育委員会
(公財)兵庫県芸術文化協会
(公財)神戸市民文化振興財団
神戸新聞社
読売新聞神戸総局
サンテレビジョン
(公社)全日本書道連盟
(公社)日本書芸院
兵庫県書作家協会

SHO JAPAN

私たちは「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援しています。

ピッコロシアター・兵庫県立ピッコロ劇団

【申込み・問い合わせ】 ☎06-6426-1940 9時～21時・月曜休み※祝日の場合翌日

<https://piccolo-theater.jp>アクセス▶■JR宝塚線塚口駅西出口より、西へ徒歩約5分
■阪急神戸線塚口駅南出口より、南東徒歩約10分
兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます
(本人のみ、事前予約・要会員証)

ピッコロシアター文化セミナーラボ <8>

「松本工房の本づくり～演劇編～」

芸術分野の書籍制作・出版を多数手がける大阪の出版社「松本工房」の代表・松本久木さんをお招きし、「演劇」をテーマに、劇作家・演出家である秋浜悟史・深津篤史・竹内統一郎の書籍を取り上げ、本づくりににおける創意工夫やエピソードについてお話を伺います。

【日時】6月14日(土)14時～15時30分 【場所】ピッコロシアター 1階 閲覧室

【入場料】無料(要申込) 【定員】先着30名

兵庫県立ピッコロ劇団 ファミリー劇場

「タラレバ幽霊とタカラの山」

花火大会の準備をしていた6年1組のショウたちは、花火が始まるまで夜の学校で肝だめしをすることに。そこで不思議な女の子、京子と出会う。小学校最後の夏、大人も子どもも心に響く「思い出」の物語。

【台本】谷口雅美・原 竹志(ピッコロ劇団) 【演出】原 竹志(ピッコロ劇団)

【日時】8月8日(金)19時、9日(土)11時／15時、10日(日)11時 【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】〈全席指定〉一般2,500円、高校生以下1,500円、セット券(一般+高校生以下)3,500円

【発売日】6月15日(日)



2025ピッコロ寄席

桂枝雀一門

「南光・雀三郎・文之助 三人会」

【演目・出演】(出演順)

「阿弥陀池」桂 天吾、「ちしゃ医者」桂 雀五郎、

「鹿政談」桂 南光、「代書」桂 雀三郎、

「質屋蔵」桂 文之助

【日時】8月16日(土)14時

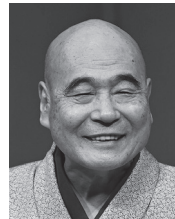
【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】〈全席指定〉一般3,000円、高校生以下1,500円

【発売日】6月12日(休)



桂 南光



桂 雀三郎



桂 文之助

兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】 ☎0798-68-0255 10時～17時・月曜休み ※祝日の場合翌日

<https://www.gccenter-hyogo.jp>アクセス▶■阪急西宮北口駅南改札口スグ(連絡デッキで直結)
■JR西宮駅より徒歩約15分(阪急バス7分)

チケット発売中

Take Me Out 2025

トニー賞演劇作品賞などを受賞した名作が待望の再演！話題の豪華俳優陣で上演いたします。舞台はメジャーリーグのロッカールーム。まるで野球観戦をしているような臨場感をお届けします。劇場で巻き起こる衝撃の数々をお見逃しなく！



【作】リチャード・グリーンバーク【翻訳】小川絵梨子

【演出】藤田俊太郎

【出演】玉置玲央、三浦涼介、章平、原 嘉孝、小柳 心、渡辺 太、陳内 将、加藤良輔、宮下涼太、玲央バルトナー、田中茂弘、本間健太(スウィング)

【日時】6月27日(金)18時、28日(土)12時／16時、29日(日)12時

【場所】芸術文化センター 阪急 中ホール

【入場料】全席指定9,800円

チケット発売中

世界音楽図鑑

北欧の夏至祭2025

～ヴェスタノー・バンド

身も心も晴れやかに、伝統音楽のワクワクする音色を堪能する“太陽のお祭り”夏至祭。今回、夏至の前夜を芸術文化センターで共に祝うのは、スウェーデンの伝統音楽における精鋭集団、ヴェスタノー・バンドです。

当日は、開場中のお楽しみ、ウェルカム演奏のほか、北欧における蚤の市「ロップス」(18時15分～)も開催予定。ぜひご家族そろって、北欧の自然と生命力あふれる特別な劇場空間へお越しください。

【日時】6月20日(金)19時

【場所】芸術文化センター 阪急 中ホール

【入場料】一般5,000円、中学生以下2,000円 ※4歳以下入場不可



ヴェスタノー・バンド

北欧蚤の市「ロップス」
※写真はイメージです

会期 7月4日(金)～7月6日(日)

AM10:00～PM5:00 6日(日)はPM4:00まで

会場 兵庫県立美術館王子分館
原田の森ギャラリー

神戸市灘区原田通3-8-30 ☎078(801)1591

主催 書道研究 玄心会

後援 兵庫県・兵庫県教育委員会
(公財)兵庫県芸術文化協会
神戸市・神戸市教育委員会
神戸新聞社・サンテレビジョン
読売新聞社神戸総局
(公財)神戸市民文化振興財団
兵庫県書作家協会

(公募展のみ)姫路市・姫路市教育委員会

書道研究 玄心会 〒670-0048 姫路市船橋町2-4
☎079(298)3288

私たちは「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援しています。

併催
公募展第三十九回
玄心書道展第63回
公募展併設

入場無料

令和7年度 ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業

2025年 6月11日(水)～15日(日)

10:00～18:00 (最終日は16:00まで)

兵庫県立美術館王子分館
原田の森ギャラリー

兵庫県工芸美術作家協会

検索

TEL 078-362-7086
(平日10時～17時)主催/兵庫県工芸美術作家協会・神戸新聞社
後援/兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市
(公財)兵庫県芸術文化協会

Toyooka Art Season2025 春夏期イベント実施

アート de 元気ネットワークひょうご



県内各地で開催される芸術祭やアート事業間が連携し、アートの魅力を発信する「アート de 元気ネットワーク」の一つとして、「Toyooka Art Season(豊岡アートシーズン)2025」が開催されています。

豊岡市内で実施されるさまざまな芸術プログラムをパッケージにして発信するもの。春夏期として9月30日(火)までの26イベントを掲げています。主な2イベントを紹介します。

「北但大震災100年ーまちに刻まれた記憶ー」■内容 北但大震災から100年を迎え、往時を振り返り現在の町並み文化の礎となったものを紹介 ■開催期間 7月18日(金)～11月25日(火) ■料金 一般500円ほか ■場所・問い合わせ 豊岡市立歴史博物館ー但馬国府・国分寺館ー☎0796-42-6111

「豊岡演劇祭2025」■内容 国内外のアーティストが参加し、地域特有の自然景観や劇場、観光地などを活用したプログラムを実施する ■開催期間 9月11日(木)～23日(火・祝) ■料金 演目によって異なる ■場所 城崎国際アートセンターなど ■問い合わせ 豊岡市役所観光政策課☎0796-21-9016



豊岡演劇祭2024の様子 photo by トモカネアヤカ

ひょうごの新進芸術家 リサイタルシリーズvol.71

矢野百華 ピアノ・リサイタル

■日時 7月3日(木)19時
■場所 県立芸術文化センター 神戸女学院 小ホール
■出演 矢野百華(ピアノ)
■予定曲目 F. シューベル
ト：4つの即興曲 D935より
第3番変ロ長調、L.v. ベートー
ヴェン：ピアノソナタ第24番「テレゼ」嬰へ長調 Op.78、C. フランク：
前奏曲、コラールとフーガロ短調 M.21
ほか



■入場料 一般3,000円、学生1,000円(25歳以下)
※当協会友の会会員は1割引になります。購入時に会員証をご提示ください。
■申し込み・問い合わせ 当協会文化振興部☎078-321-2002

庭園から望む宝塚市立文化芸術センター



かつて「宝塚ファミリーランド」があった場所に2020(令和2)年、宝塚市立文化芸術センターが開館しました。南隣に宝塚市立手塚治虫記念館、東隣には旧宝塚音楽学校を改築した宝塚文化創造館があります。宝塚歌劇の本拠・宝塚大劇場や「花のみち」とも近接しており、宝塚の文化・芸術遺産に親しめるゾーンを形作っています。

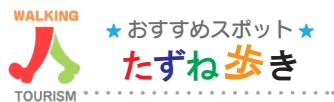
元々は箕面有馬電気軌道(阪急電鉄の前身)が明治末期に開場した「宝塚新温泉」が1960(昭和35)年、宝塚ファミリーランドに改称。遊園地とともに動物園、植物園、大人形館などがあり、温泉、歌劇とも一体化して週末に家族連れで楽しめるレジャー施設として賑わいました。

時代の移り変わりとともに客足は衰え、遊園地は2003(平成15)年に閉園。跡地に「宝塚ガーデンフィールズ」が開園しましたが10年で閉園し、宝塚市がその敷地を買い取って文化芸術センターが建設されました。曲線的で細長い建物には企画展を催すメインギャラリーのほか、市民が催しに利用できるギャラリーやスペース、芸術や自然、地域に関する書籍や絵本を閲覧できるライブラリー、ショップなどがあります。

屋外には、子どもたちがのびのびと遊べる「みんなの広場」、樹木や四季折々の草花で彩られた「メインガーデン」、見晴らしの良い「屋上庭園」があります。センターと庭園は今年、公募によって「たからば」の愛称が付けられました。人々が集う場という意味が込められたそうです。

企画展は年に4回ほど開かれ、現在は「中

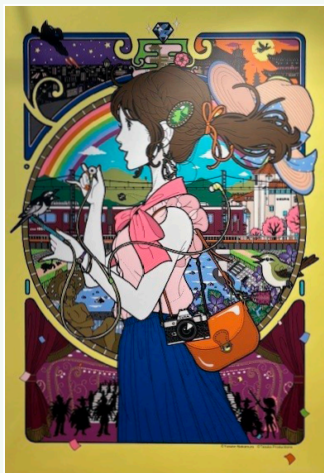
中村佑介展 人気イラストレーターのすべて



宝塚市立文化芸術センター 愛称は「たからば」

村 佑 介 展 in TAKARAZUKA 2025」が7月21日まで開催中です。中村氏は1978年生まれの人気イラストレーターで、出身地の宝塚市で宝塚観光ガイドブックの表紙などを手がけています。

着色前の手描き原



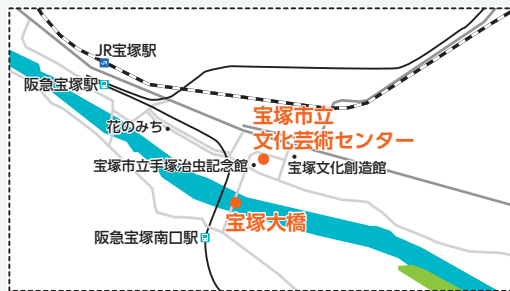
宝塚観光ガイドの表紙のイラスト

画(線画)と完成画を合わせて展示する原画展です。原画は300点以上、完成画パネルなどは270点以上など、デビューから23年の中村氏の軌跡を辿る圧巻の展示内容です。CDジャケット、書籍カバー、アニメのキャラクターデザインなど多くの作品を目にして、氏の名前を知らなくても「どこかで見た」と馴染みを覚える人が多いでしょう。

センターの指定管理者が4月に交替し、公益財団法人宝塚市文化財団が運営を任されました。三戸俊徳館長は「かつて大衆文化が開花した宝塚の『町の記憶』を子どもたちにも伝え、新たな文化と一緒に創っていきたい」と話しています。



人気イラストレーターの中村佑介展を開催中



おでかけ ちょっとメモ

▶宝塚市立文化芸術センター＝宝塚市武庫川町7-64。開館時間は10時～18時(入場は17時半まで)。休館は月曜(祝日の場合は翌平日)。入館無料。ただし展覧会や催しによって有料となる。「中村佑介展」は一般1,400円、小中高校生900円。JR・阪急宝塚駅から「花のみち」を通り徒歩13分。阪急宝塚南口駅から宝塚大橋を渡り徒歩7分。☎0797-62-6800



リニューアルした宝塚大橋

ガーデブリッジがリニューアル

近くの武庫川に架かる宝塚大橋は、先進的なガーデブリッジ(橋上公園)として知られています。老朽化に伴う耐震補強や歩道整備の工事が昨年完成。ゆったりした歩道に植栽やベンチが備えられ、宝塚らしい周囲の景観を楽しめます。



読者プレゼント

宝塚市立文化芸術センターで開催中の「中村佑介展」のチケットを抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。6月18日(水)必着。



ワンランク上の
プレミアム・プログラム

兵庫でサステナブル体験！
ひょうごフィールドバビリオン



但馬

自然エネルギーを活用した「湯がき体験」

荒湯で地元産品の湯がきを体験。温泉文化も紹介

大阪・関西万博会場で開催中！

HYOGO ミライバス

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちの SDGs

